

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公開番号】特開2012-93236(P2012-93236A)

【公開日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2010-240964(P2010-240964)

【国際特許分類】

G 01 B 5/00 (2006.01)

G 01 B 5/20 (2006.01)

G 01 B 5/008 (2006.01)

【F I】

G 01 B 5/00 L

G 01 B 5/20 C

G 01 B 5/008

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検物を載置する載置面が少なくとも1軸を中心として回転可能な載置部と、前記載置部を支持するベース部と、前記ベース部に固定されて、前記ベース部に支持された前記載置部の位置との位置関係が既知の基準部と、
を備える載置台。

【請求項2】

前記基準部は、少なくとも3つの基準部材からなる請求項1に記載の載置台。

【請求項3】

前記基準部材は、球体からなる請求項2に記載の載置台。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の載置台と、

前記載置台を固定する定盤と、

前記定盤に固定された第2の基準部材と、

前記定盤に支持され、前記被検物の形状を測定する測定プローブとを備える形状測定装置。

【請求項5】

前記載置台は、前記載置面を傾動可能とし、前記定盤に対する前記載置面の傾斜角を検出する傾斜角検出部を備えた請求項4に記載の形状測定装置。

【請求項6】

定盤に配置され、被検物を載置する載置面が回転可能な載置台を有し、前記載置面に載置された前記被検物の形状測定方法であって、

前記定盤に対する前記載置台の位置情報を取得するとともに、該位置情報に基づいて前記載置台の回転軸の位置ずれ量を算出する工程と、

前記被検物を測定して得た測定座標値を、前記算出された回転軸の位置ずれに応じて補

正して第1補正值を算出する工程と、

前記定盤上の所定の位置に設置された載置台に対して予め設定された補正関数テーブルを用いて前記第1補正值を補正して第2補正值を算出する工程と、

前記第2補正值を、前記回転軸の位置ズレに応じて補正された量を戻すように補正して第3補正值を算出する工程と、

を含む形状測定方法。

【請求項7】

前記載置台に設けられ、前記被検物を載置する載置部の位置を規定する位置規定部材を用いて前記載置台の位置情報を取得する請求項6に記載の形状測定方法。